森のたより

1.8.2017



暑中お見舞い申し上げます
梅雨が明けたら梅雨になったような毎日です。高温多湿を絵に描いたような毎日で、植物たちには最高の環境でしょうね。
アゲハチョウは柑橘系の植物の葉が大好き？というより柑橘系の葉でしか育たないので卵を葉に産み付けます。スミレのテラスのミカンの木はいつもアゲハがフワフワ飛んでいて、留まったかな？と思うか思わないうちに透明な卵を産み付けます。
やがて黒い毛虫になりこどもたちの目にとまるようになります。こうしてアゲハの一生が始まるのです。

あやめさんはお花と一緒にアゲハチョウを描きました。羽の汚れや赤い裾模様？などしっかりかけましたね。余白を楽しんでいるようです。もちろんスミレのテラスね見つけたさなぎをクラスで育てて羽化したアゲハチョウです。ジッと見つめてよく観察しましたね。周りのお花は未来の世界なのですね。やがてお部屋の外に飛び立ってきれいなお花の周りを飛んで、いっぱいおいしい蜜を食べてくださいね・・・というのでしょうか。

小さな命を見つめることはいろいろなココロを育ててくれるものだと自然の力に脱帽です。

さて、８月はお盆の季節です。岐阜のお盆は旧暦盆ですから、８月ですね。お釈迦様のお弟子の目蓮尊者（モッガラーナ）にまつわるエピソードが夏安居（げあんご）という夏の修行中にあったことから７月の１５日を盂蘭盆と言いましたが、他のいろいろな行事同様、一ヶ月遅れの旧暦で盂蘭盆を迎える地域も西日本には多くありますね。

さて、盂蘭盆はふるさとを訪ね、お墓参りをしますね。盆踊りで久しぶりの友達に会ったりしますね。夏の陽のほてりがまだまだ残るグランドや広場もなつかしく、自分が育った歴史のようなものに触れたような気がします。そのように我が身が育ち育てられたという事実を感得するのはとても大切なことなのです。

「今私がここにいる」という自己存在の根本が不安定になると、「確かに今生きている」ということの実感を得るために自らを傷つけたり、人を傷つけたり殺めたりもするのです。

お父さんやお母さんの存在は私がここにいる証の一つになりますが、それはカラダのことですね。ココロの証が必要なのです。前「ルーツ」というドラマが話題になりました。アメリカ国籍の一人の若者が自分の歴史をたずね、イギリス人の奴隷商人によって西アフリカから奴隷船に乗せられたクンタ・キンテのことを探し当てます。祝福された命が様々に歪められ自らにつながっていることに驚きつつ、願われた命にひざまづくドラマです。

実際、私たち一人一人には４億６千万年の地球の歴史の上にあるのですが、なんだか現実的ではありません。アゲハチョウは自分が生まれた木に卵を産み付けます。そんな短い巡り合わせではありませんが、この世に生まれてきたお互いをしっかり支え合えることが大切なのでしょうね。

いろいろなメディアが命のことをテーマにする夏でもあります。是非ともお子様の手をつなぎながらココロの命の「つながり」を感じる夏になればと思っています。

な が ら
こどもの森

hokendayori

日差しの暑い夏がやってきました！！　日射病や熱射病の総称のことを熱中症といいます。

“長時間、外で直射日光にさらされると起こるのが日射病"

“長時間、蒸し暑い場所にいたために起こるのが熱射病"

どちらも体内の塩分や水分が不足します。そのため体温が急に上昇して、体温調節ができなくなるため脱水症を起こし、症状がひどい場合は死に至ることもあります。

熱中症の予防

①昼間、外に出るときは、必ず帽子をかぶりましょう。
②長い時間、炎天下で遊ばないように日陰で休憩しましょう。
③日差しの強い時間の外出はなるべく避けましょう。
④水やお茶、イオン水など適切な水分・塩分を補給しましょう。





サクラのあきひとさんは今ゴジラに夢中です。小さな同じ部品をくっつけて遊ぶのが構成あそびです。黄色いリングは「フロリーナ」。頭の中にイメージされた世界を表現します。創造性はもちろんのこと、じっくり最後まで取り組む我慢強さも育ちます。

「我慢強さを育てる」それも今話題の非認知能力なのです。

８月の行事予定

８日　モリセミ　おかげさまで定員いっぱいのお申し込みをいただいています。

１７・１８日　発育測定　身長・体重などを測定して記録します。

２１日　なつまつり

２４日　避難訓練　おしゃべりしない、はしらない、おさないというのが約束です。

８月３日　異文化交流　以上児クラスがECCジュニアーの英語文化にふれます。